令和６年度第３回 蓮田市総合文化会館運営協議会 議事録

開催日時	令和７年３月２５日（火）午後５時～午後６時３５分
開催場所	ハストピア　多目的ルーム
記　録　者	今井　由美子
出　席　者	会　　長　関口　茂 副 会 長　山田　正恵 委　　員　塚本　聖子 委　　員　福島　進 委　　員　関根　正昌 委　　員　美濃　昌輝 委　　員　渡辺　弘 事務局　山口　京子　市長 西山　通夫　教育長 生涯学習部次長兼文化スポーツ課　課長　小野寺　潤 主査　今井　由美子
	資料の確認 ＞次第 ＞資料１　蓮田市総合文化会館運営協議会委員名簿 ＞資料２　蓮田市総合文化会館運営協議会設置要綱 ＞資料３　令和６年度稼働率（2 月まで） ＞資料４　令和６年度使用料（2 月まで） ＞資料５　令和６年度ハストピア事業実施状況 ＞資料６　令和７年度ハストピア事業計画案 ＞資料７　令和８年度ハストピア事業計画案（運営協議会） ・令和６年度第２回蓮田市総合文化会館運営協議会　議事録（案） 〈当日配布資料〉 改正前資料 8-1　蓮田市総合文化会館設置及び管理条例 改正後資料 8-2　蓮田市総合文化会館設置及び管理条例 １.開会　小野寺次長 ２.会長挨拶 ３.市長挨拶 ４．議事　ハストピア運営状況について (1) 令和６年度事業実施状況の説明 （事務局）　令和６年度稼働率（4～2 月）、使用料（4～2 月）の説明 令和６度自主事業実施状況の説明 （委員）　五条院さんが前に入っていた気がしますが、何で入らなかったのですか。 （事務局）　ある程度推測になりますが、こちらの７月の日程については相手方のほうからオファーが、この日でどうですかと日程調整がありました。私どもとしては五条院凌さんのコンサート回数がかなり地方で

	も増えてきたことがありまして、蓮田で聞かなくても他の自分の身近なところで弾けるてことがまず1つ大きな要因なのか、また、一時的にファンになった方々が、テレビの露出が少なくなったということで、入る方も減ってしまったと思っております。 1回リセットさせていただき、次年度以降について考えさせていただきたいと思っております。今回の実績としてはこのような実績です。 (2) 令和7年度事業計画案 (事務局) 令和7年度事業計画案の説明 (会長) 「協定」というシステムは会場を提供して何割かが入るということですか。 (事務局) 会場の使用料はいただかない形で、チケットを販売してその販売実績の10%か5%、何%かをハストピアの収入としていただく形の方式でございまして、通常の委託契約、委託料をお支払いして運営会社にお願いするという方式よりは、館は使用料が無料になりますが、その方式でやっていただけるかどうかを東京混声合唱団、ヒビキさんにご提案差し上げやっていただけるということで協定を結ばせていただいております。 (委員) 個人的には「銭天堂」が楽しみ、8月で、銭天堂で、お子さんで、夏休みですごく楽しみになります。以前、お話されていた人形劇も素晴らしいですが、ホール外でも何かお子さんが喜んでいただけるようなものがあればすごく盛り上がるとお話をされていたと思いますが、今後企画されたりするご予定ですか。 (事務局) 外と中で、駄菓子屋さんとかそういったものを、まだ企画の段階ですので、どのようにやっていくかはまだ来年度に入ってから決めさせてもらいたいと思います。一緒にできればいいと思います。 (市長) 怪談の「島田秀平さん」は、手相を見るお笑いの人ですか。 (委員) そうだと思います。ユーチュブに怪談話を配信されている方かと。 (事務局) 城谷さんという怪談師に、もう一人どなたかご紹介いただけないかとお願いしたら「島田秀平さん」をお声がけしますとなりました。 (市長) 謝礼というやり方はどういうことですか。 (委員) 講演会で謝礼というのはあると思うんですけれども、自主事業謝礼という予算の中から、公演いくらという形でお支払いを決めさせていただいてという方式です。 (市長) 委託ではなくて、城谷さんとのやり取りで、会社ではない、その方のこともイメージがわからない。 (事務局) 個人とのやりとりになる予定です。いろいろな口演を場所でやってはいますが、大ホールで口演をするのが初めてになられる予定です。 (市長) 初めてなら、なおさら大事な企画をしっかりしないとだめです。稲川淳二さんならわかります。 (事務局) 怪談をやったことがなかったもので企画しています。 (市長) そうですが、年に話系(ジャンル)は1回ではないので、慎重に企画してください。 (事務局) 申し訳ありません。 (市長) 他は今までも談春さんは有名ですし、謝礼という形がどういうものなのか、怪談は怪談で面白いとは思いますが、この方がよくわかりません。 (事務局) ハストピアでは初めての開催です。

	（委員）　最近この若手さんが出ています。稲川さんが、かなりアップアップみたい。 （市長）　怪談ということで、時期的なこともありますが、これは誰かのご紹介ですか。 （事務局）　紹介というわけでは、怪談話で今ユーチューブで話題に上っている方がいると、直接連絡しました。 （市長）　ユーチューブを見せていただきたい。どういう人なのかを知りたい。 （会長）　毎年、項目として「合唱」の数は大体同じですか。年間いくつとかありますか。 （事務局）　今年度の事業をご提案の時に話があったと思いますが、毎月大体、1つくらいは自主事業をいれさせていただきたいと計画しているところです。夏休みだったり、お子さん向けのものはやはり夏休みだったり、お休みの時がいいだろう、音楽に関しては芸術の秋頃がいいとかありますが、大体１ヶ月に１つぐらいはという形を頭に入れて企画をしているところです。 （委員）　サポーターズの企画はどうですか。 （事務局）　サポーターズ企画に関してはサポーターズを登録制、５年度と６年度という２か年で改めて登録をしてという形で、来月また全体会を開いてその時に企画のグループの方が企画をねる形で始めることになっております。 （委員）　これらの企画の宣伝方法として、ポスターもあるかとは思いますが、ハストピア公式のインスタグラムがあるのを知ってますがそれの更新はどなたがされているのか参考までにお聞かせいただけますか。 （事務局）　ハストピアのインスタグラムは文化会館の担当の職員がいますがそのものがやっております。サポーターズの中にも情報発信というグループがございまして、サポーターズの色々な情報発信はその情報発信グループのものが更新させていただいています。 （委員）　ユーチューバーの方も公演でいらしているので、インスタグラムのその関連で見てもらえるのかという気はしました。 (3) 令和８年度事業計画案 （事務局）　令和８年度事業計画案の説明 （委員）　記念日は何月何日、10 周年というといつからなのですか。 （市長）　10 周年とみなで盛り上げているだけで、記念式典をやるなにも決まっていないです。多分秋になると思いますが、秋は市民が使うので秋にこだわらなくてもいいと、私としてはそれにこだわらずに８年度の中でやれればというぐらいです。８年度の何時というよりも、皆さんからこういうのがいい、ああいうのを見たいというのを出してくだされば今ならまだそれに逆に合わせられるということです。 （事務局）　パルシーについては、令和８年の４月１日に再オープンを考えています。それに併せて事業の方を３つ今のところ展開する予定があります。4 月の当初にバレーボールのリーグ戦を１つ、8 月の終わりごろにバスケットボールのリーグを１つ、プレシーズンマッチ、もう１つは 9 月の頭に、連続になりますが、卓球のプロリーグを１つ、この前リーグを制覇した埼玉県のプロチームに声がけをして、パルシーでリーグ戦もやっていただく、その３つの事業をリニューアルオープンの記念として事業をやっていただくということでお願いしております。日程もある程度押さえて、そことリンクさせてやるのは

		なかなか難しい部分ではあると思いますが、先ほど市長のほうで申し上げた日程にこだわらないということであれば何か一緒に併せてやることはできるというふうには思っております。 何かいいそれこそこれと抱き合わせにしたらいいんじゃないかとか、そういったご意見もございましたらぜひご意見いただけると、励みになりますのでよろしくお願いします。
	（会長）	令和８年ですね。アリーナ、ああいうところで伊奈学のマーチングとかはどうですか。
	（事務局）	アリーナでは、十分マーチングもやっていただけます。マーチングの練習で特に夏休みとか、今までも高校の団体とかご利用いただいているケースもあります。来年サブアリーナも出来ますので、サブアリーナの中で練習していただいて、メインアリーナでもやっていただくとこともできます。先ほどスポーツを申し上げましたが、こけら落としとしてやっていただくというのも十分可能かと思っております。ただ、そろそろ令和８年度の事業計画のほうを年間令和８年度にパルシーはどういう計画で使っていくかというのを各団体にこれから色々計画を出していただく状況になっていますので、もし決めるのであれば先に市のほうで日程は押さえなければいけないです、もしやるようであれば日程は事前に各スポーツ団体のほうへお話を回す前に決めておかないと、多分今回埋まってしまうと思います。今年の夏７月ぐらいには各団体さんのほうと例えばバトミントン連盟、バレーボール連盟で年間どういう利用をするかという計画をなげる段階ですので、その前に決めておかなければならないと思っています。
	（教育長）	特に新しいことをやる、考えなくいてもいいかとは思います。今までやってきたものをコラボするのもいい。
	（委員）	体育館のほうのこけら落としとか、オープニング、今お聞きした、バレーボール、バスケット、卓球っていうオンラインスポーツ、こういった固まった形で日程が取れたってのは非常にいいことだと思います。バスケとか卓球はホームコート以外でも試合会場って結構探しているところあるんじゃないかと思います。蓮田もプロないしそれに近いチームと、準ホーム扱いで定期的にここで試合をしてくれるというふうに持ってくるいい機会は 10 周年なり、パルシーが新しくできたこのタイミングかと思います。 そして、文化関係ですが、この間シフという人がさいたま芸術劇場でピアノリサイタルをしましたが、そういう高くても格調ある人を 10 周年というタイミングで呼ぶのもいいと思います。上尾で見たのですが、マセキ芸能社のタレントお笑いがたくさん集まった「お笑いライブ」は満席で面白かったです。ただ子どもたちを笑わせるのではなくて、その日見たのはストーリー性がある芸人たちばかり７組か８組、どれにもファンがいて結構演出もありました。こういうのもいいかなあと思いました。もう１つ、吉田洋さんという人「ピアニスターひろし」はご存じですか。会館でやったことはありますか。
	（事務局）	ないです。
	（委員）	左手でクラシック、例えばショパンを弾いて、右手でモーツアルトを弾くそれがすごいんです。芸大出の作曲科出ている本物ですが、語りも上手で、１人で 1、2 時間は持つ人です。もしよろしかったら、年に１回ぐらい入れてみるのはどうですか。
	（事務局）	パルシーの話ですが、文化会館の運営協議会とはずれてしまいます

		が、先ほど委員がおっしゃったように、今、どこのプロチームでもホーム＆アウェイっていうホームゲームを主催するのに、ホームの拠点を持ちなさいというようなルールがあります。ホームゲームをやるのに、その拠点となるところで約8割試合をして、それ以外の2割についてホームチームがどこでやるか開催地を選べるようなそういったことがあるようです。そういったものを活用してサブのホームタウンとしてパルシーを使っていただくというのが1つあります。バスケットについては、今、ブロンコスさんと協定を結ばさせていただきこれから事業を、例えば子ども向けの教室をやってもらうとか、そういうのも抱き合わせで一緒に考えていきたいと思っています。卓球は先ほどのチームと直接交渉させていただいて、サブができたら大きさ的にこのチームがリーグをやるのにちょうどいい広さということを伺ってまして、サブができたことで練習場もあるのでぜひ使わせてくださいというようなお話もいただいております。もうちょっと交渉を粘り強くして固定でリーグがまわってくるような蓮田でもやっていただけるようなそういう環境が作れればと思います。先ほどのお笑いの件については、私より委員さんのほうが詳しいと思いますので、一言いただければと思います。
	（委員）	ご指名いただきましたので、詳しいというよりはジェイコムに勤めていますが、その前は吉本興業で漫才師を10年ほどやっておりまして、マセキさんすごく人気があっておもしろいコラボされているのでイベントできたらいいなと思います。またその際は相談いただければと思います。
	（委員）	大概周年事業というと市民参加を考えそうですが、どうですか？何をするんだという話ですが。
	（委員）	一昨年、「黒浜沼の河童」に息子が参加させてもらいまして、また、機会があればいいと言ってました。
	（市長）	あれはハストピアができるために市民の方がやりたいってすごい強い願望がある人がなんとか作っていって、何回かやったんですけど、新しい血を入れながらならいいんですけど、やっぱりみんなずっと最初の人がいて、最後はこないだは子どもたちを入れてはかったんですけど何かそういうのがまたできればねいいんですけれども
	（委員）	ちょうど息子が参加させてもらったので、また、機会があればとは言っています。
	（市長）	参加して下さってありがとうございます。
	（委員）	吉本興業の新喜劇をやっているメンバーがそのテーマに合わせて市民の方々とお芝居を作るっていうことをやっていて、8回くらい練習するというカリキュラムがあるんです。
	（市長）	開館最初の方にそれはやりました。吉本の方が入っていたので運営というか、2年くらい続けて吉本さんのお笑いそれこそ当時出てきた横澤さんが来たり、無名の人が来たりですけど、なかなか売れている人と売れていない人の差が激しくて全体的にみるとちょっと途中で中だるみしたと思います。最初は、前の日の夜中からチケットを並んでました、ちょうどお笑いブームですごかったです。
	（委員）	確かにおっしゃるように誰が来るかで全然違います。
	（市長）	あのころは吉本って言うだけですごいチケットが売れました。
	（委員）	今はちょっと逆流してます。
	（市長）	吉本もがんばっていて、よしもと地域芸人、住みます芸人が市長室に来るのですが、誰も住んでいない、今やどこにいったのか、お笑

	いの人をどのタイミングで来てくれるかいうのはこちらとしてもしっかりみないと、今、きっとマテキさんはすごいんじゃないですか。 （委員）　ナイツをトリにして、みんな質が高かったです。 （市長）　変ですが、やはり若い人、有名な人が来るとみんな喜ぶ、それは当たり前ですが、そのようなことだけで周年事業はいいのでしょうか。 （委員）　近藤さんプロデュースで発注して全員が蓮田市民のダンスもいいんじゃないですか。お金はかかりますが。 （市長）　この前の「日本昔ばなしのダンス」は、質が高いのではなくて質が高すぎました。彩の国芸術劇場が作ったもので私は見慣れててとてもおもしろいし、いいと思ったのですが、子どもが単純に「地獄のあばれもの」が怖くてチケットを買わないんです。来た人はおもしろいって言うのですが、質が高いのと質が高すぎるのは大きな差があります。あとはやはり、子ども対象だったら夏休みとか春休みとか冬休みにすべきだったということが今回の反省点です。その辺のいい具合が近藤良平さんはすばらしかったです。この間のグランデ私も応募しましたが、近藤さんにむかって、みんな目がハートになって一体的になってやっていました。ダンサー、障がい者、色々な人がいたのですが、それを市民でまとめあげるのは難しいかもしれません。ストーリーがあるものでないと、「黒浜沼の河童」にお子さんが出たって聞いてうれしいです。そういったものをもう一回他で何かないかとは思います。 あれを創り上げるのには関口先生のお力を借りたり、色々な方がそれぞれ大変でした。市内にいるプロの芸術家を使う、楽器も全部そこから始まって作曲家も市内の人です。その楽器に合わせてみな作ってくれたので、創り上げた最後は良かったですが、芸術家なので大変でした。何回かやって慣れてきましたが、委員がおっしゃるように周年事業でそれが本当はできれば、待ち望んだハストピアのそういうものが出てくると思います。難しいです。 （委員）　周年事業で市民参加っていうところ、私もすごく望んでいるところですが、なかなか「黒浜沼の河童」のようなものが難しいのであれば、例えば、10 周年なので 10 歳の子どもたちを蓮田市が何かやるときに招待して、その時に 10 歳の子たちに将来を託して招待をしてその子たちには優先的に見てもらうというようなことができたらいいんじゃないか。民生委員・児童委員をやらせていただいていますが、ここに来たことがない子どもたちがたくさんいます。先ほど吹奏楽の発表をやりました、越谷高校が使いました、白岡の人たちがここで練習していますと、ここにきたことがない子どもたちが 10 年経っているということがどうかと、きっとバスケとか見に来るとは思いますが、それでもまだ来られない子どもたちもいると思います。 実は子どもたちをここに、10 周年ということで参加型でできればそれはすごくいいことですが、せめて見に来てもらうということが 1 つの方策としてあるといいなと常々思っております。 （市長）　銭天堂さんはきっと来てくれるかと、この間のダンスはみんなあのポスターだけ見て人形劇だと思った人が多かったです。 （委員）　語り聴かせというか、大きな紙芝居じゃないかと思っていた人たちがいます。 （市長）　それぞれの思いがあり、来てもらうことが大事です。来てもらえればこういうやり方もあるんだとわかるのですが、来てもらうまでがです。

	（委員）　子どもたちに喜ばれるものが何かあるといいと思います。ここは音響の響きがいいですから、こういう世界がある、それを子どもたちに体験させたいです。 ５．その他 （事務局）　使用料金等の改正等についての説明 次回会議日程　他 ６．閉会　山田副会長